

平成29年度事業報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

【事業の趣旨】

重要文化財多久聖廟及びその周辺地域は、藩政時代多久邑の中心として多くの史跡や文化財があり、緑豊かな恵まれた自然と古い町並みの景観は、一帯が歴史公園としての佇まいを呈し、文教の地「丹邱の里」として語り継がれている。

これら、自然的、歴史的、文化的佇まいの保存整備と調和のとれた開発並びに芸術文化の普及振興により、快適な地域の生活環境を醸成するとともに、この地を広く内外に紹介していくことにより、訪れる多くの人々が「心の豊かさ」を享受し、また、広域的な交流も図ることができる。

本法人では、多久の領主であった多久茂文が取り組んだ「文教の里づくり」を目指し、伝統芸能・文化の伝承、学芸文化の研鑽振興、児童・青少年の健全な育成、現地研修を重点的に事業として行っている。

この「文教の里づくり」を推進することにより、地域の文化及び芸術の振興を図り、もって地域の活力ある発展に寄与する。

【事業の体系】

- 1 重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業
 - (1) 積菜事業
 - (2) 全国ふるさと漢詩コンテスト事業
 - (3) スクール(寿)コンサート事業
 - (4) 中国の旅事業
- 2 地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業
 - (1) 孔子の里ジュニアガイド事業
 - (2) 生活体験学習(通学合宿)事業
 - (3) 中学校生徒会交流事業
- 3 重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業
 - (1) 多久聖廟の維持管理事業
 - (2) 多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統

芸能の紹介の展示事業

(3) 東原庠舎の研修目的での利用に対する貸与事業

- 4 図書製作販売事業
- 5 新年のつどい開催事業
- 6 各種教室・講座開催事業
- 7 法人運営・管理事業

【事業の実績】

1 重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業

(1) 積菜事業

積菜は、多久聖廟創建（1708年）以来、約300年の歴史があり、春（4月18日）、秋（10月第4日曜日）の年2回開催している。1980年には県の重要無形民俗文化財に指定されている。

このような佐賀県重要無形民俗文化財に指定されている歴史的伝統文化を適切に保存し、次世代への的確に引き継ぐとともに、市民の参加を促し、地域文化として形成を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア 実施時期：春（4月18日）、秋（10月22日）の年二回開催

イ 事業の対象者：一般住民（参拝者：春約1,600人、秋約5,000）

ウ 周知方法：市報、新聞、ラジオ、チラシ等を活用して、周知した。

(2) 全国ふるさと漢詩コンテスト事業

全国より漢詩を募集してコンテストを開催し、伝統文化を活かした文化及び芸術の振興を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア 募集（周知）方法

儒学と文化の里づくりとして、漢詩を全国から募集するとともに、市報、新聞、ホームページ、ガイド誌等を活用して、周知した。

イ 審査方法

審査は公平を期すよう氏名などを伏せた作品を送付し、審査員の方々に審査していただいた。

ウ 審査員：石川忠久先生（学校法人二松学舎顧問・公益財団法人斯文会理事長、専門は古典中国文学）、佐藤保先生（お茶の水女子大学名誉教授、専門は中国古典詩研究）

エ 表彰方法

12月2日に東原庁舎において、審査委員である石川忠久先生が公開講座後、発表し、作品の講評をしていただいた。

最優秀賞作品は、石碑に作品を書いた陶板を埋め込み、多久聖廟展示館周辺に設置した。

最優秀賞	訪屋久島縄文杉 (やくしまのじょうもんすぎをとう)	オオモリ 大森	カズヒロ 一廣	福岡県福津市
優秀賞	春日野遊 (しゅんじつやゆう)	スミタ 住田	フエオ 笛雄	神奈川県川崎市
優秀賞	奉納写経会 (ほうのうしゃきょうえ)	スミオカ 角岡	タダシ 忠	大阪府泉佐野市
入選賞	屋久島縄文杉 (やくしまのじょうもんすぎ)	シロタ 城田	ロクロウ 六郎	神奈川県横浜市
入選賞	過舊蘆 (きゅうろによぎる)	スギモリ 杉森	チエミ 千枝美	神奈川県横浜市
入選賞	初春散歩逢花 (しょしゅんさんぽしてはなにあう)	キクチ 菊池	ツヨシ 健	宮城県仙台市
奨励賞	古城春望 (こじょうしゅんぼう)	コガ 古賀	チエコ 千恵子	佐賀県佐賀市

オ 応募実績：海外及び全国より329点の応募（応募者227名）

(3) スクール（寿）コンサート事業

多久市在住の趙勇（揚琴演奏家）氏の高いレベルの揚琴を鑑賞し、高齢者や子供達の芸術文化への理解と参加の機運を高め、豊かな情操の育成と健全な人格の形成を図るとともに、中国との異文化の理解と交流を深めることにより、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア 開催場所等

(ア) スクールコンサート：市内義務教育学校 3 校（参加者：全校児童・生徒、教師、保護者）

学 校 名	開 催 日	参加者数(合計)
東部校	2月6日(2回)	92人
西溪校	3月12日(2回)	55人
中央校	11月15日、1月9日	189人

(イ) 寿コンサート

開催場所	開 催 日	参加者	参加者数
東多久公民館	3月11日	東多久老人クラブ	約40人
納所会館	2月13日	納所老人クラブ	約20人

(4) 中国の旅事業

多久聖廟は、孔子様を祀っており、長年、孔子直系子孫の方々と多久市民は積極的に交流をもっている。今回は、中国の文化遺産の視察研修として内モンゴルのシラムレン草原、フフホト、北京へ行き、中国の歴史と文化を学び、孔子直系子孫の孔徳懋氏と懇親会を行った。

この中国の旅事業をとおして、市民レベルでの中国と日本の交流を深めることができ、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア 実施時期：平成29年8月27日（日）～平成29年8月31日（木）

イ 実施地域：内モンゴル シラムレン草原・フフホト・北京

ウ 参加者：13名

2 地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業

(1) 孔子の里ジュニアガイド事業

児童や青少年の健全な育成のためには、地域活動への参加や様々な体験を通じて、自立と交流を促すことが必要あることから、児童や青少年の参加や体験を促す事業を一体的に展開し、その健全な育成を図った。

ア 対象児童：義務教育学校3・4・5・6年生

イ 募集方法：毎年4月に対象者全員（約650人）に案内チラシを配布し、周知した。

ウ 実施時期：毎月第2・第4土曜日の午前中

エ 実施内容

(ア) ジュニアガイドとしての指導、育成、郷土文化の伝承

ジュニアガイドに申し込んだ児童を対象に、地域の歴史文化やガイドとしての心構えなどについて、60分8回の講義を行い、ジュニアガイドとして育成した。

(イ) ガイドの受付、スケジュール管理

観光客等からのジュニアガイドの依頼を受付けるとともに、ジュニアガイドのスケジュールを管理した。

(ウ) 孔子の里観光ボランティアガイドの同伴

ジュニアガイドの実施日には、孔子の里観光ボランティアガイドが同伴し、ガイドに対するアドバイス等を行い、説明が適切に行われるようにサポートしていただいた。

(エ) 他団体との交流

今年度は、8月に鹿島市の田澤記念館田澤少年クラブと交流研修を行った。田澤少年クラブの子供たちに多久聖廟のガイドを行い、郷土の歴史を伝えたのちに、論語カルタを共に行い、交流を深めた。

また、3月には、佐賀市の佐野常民記念館及び三重津海軍所跡にて現地研修を行い、郷土の世界遺産を学ぶことができた。

オ 育成実績：15人

(2) 生活体験学習（通学合宿）事業

子供達の自立を阻害し、無気力な状態に追い込んでいる最も大きな原因の一つは、年齢相応に自ら体験すべきことを体験していない、体験の乏しさにあると考えられている。当事業は、年齢の異なる友達と一緒に生活をしながら、様々な体験を通して、我慢する心、譲りあう心、思いやりの心を学ぶ場として実施した。

平成29年度は、体験活動として毎年大人気の麵工房こうきの早田光希氏によるうどん作り体験やおぞら教育プランニング主宰の高木淳剛氏とNPO法人唐津環境防災推進機構 KANNE 理事・事務局長の藤田和歌子氏による木製ペンダント作りなどの自然体験活動を行った。

ア 実施時期：9月20日～23日（3泊4日）

イ 実施場所：東原庁舎

ウ 募集方法：多久市内の各義務教育学校3～5年生の全児童に案内チラシを配布し、周知した。

エ 参加費用：5,000円

オ 参加実績：33人（多久高等学校よりスタッフとして4人参加）

（3） 中学校生徒会交流会事業

生徒会活動は、多くの学校がその学校単位のみで行っており、他の学校の活動について知る機会は少ない。このような状況の中、多久市内の生徒会役員が一堂に会し、先輩である佐賀県立多久高等学校の現役生徒会役員と生徒会役員経験者から生徒会活動の参考となる話をしていただいた。その後、各校の類似した専門委員等でグループワークを行い、各活動の情報交換や年間目標の作成などを行った。

ア 実施時期：12月26日

イ 実施場所：東原庁舎

ウ 参加実績：40人

3 重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業

（1） 多久聖廟の維持管理事業

当業務は多久聖廟及びその周辺に存在する2施設の一体的保全、管理を行うものである。

重要文化財「多久聖廟」と聖廟等に関する資料等を公開する「多久聖廟展示館」、社会教育施設・宿泊研修施設「東原庁舎」の3施設を一体的に管理、運

営することにより、聖廟を見学し、展示館で積菜などの伝統文化に触れ、東原
庫舎で講義研修を受講することができるなど一連の流れの中で学習することが
できる。

これらにより、多久聖廟に関わる地域の伝統や文化を総合的に学ぶことが
できるなど、「文教の里」として、当地域の伝統や文化を横断的かつ一体的に体
験し、学習する機会を創出することに繋がり、文化・芸術の振興・発展や地域
の活力ある発展に寄与した。

(2) 多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統芸 能の紹介の展示事業

多久聖廟は約300年の歴史を持ち、春と秋に積菜を開催している。多久聖
廟展示館では、多久聖廟の歴史及び多久の偉人の紹介や伝統・文化を紹介して
いる。特に今年は、多久聖廟に関わりの深い儒者草場佩川の没後150周年の
年であるため、草場佩川会の協力のもと、草場佩川に関する展示を行った。

また、現在の多久の魅力を知ってもらうため、多久百景写真コンテストを開
催し、その作品を展示することで地域の活力ある発展に寄与した。

ア 孔子、四配に関する調査研究、資料等の展示

多久聖廟に祀られている孔子像及び四配に関する過去の調査資料を展示す
るとともに多久聖廟周辺で発掘された文化遺産を展示した。

イ 積菜に関する資料、衣装等の展示

積菜で行われる伝統芸能の資料や衣装を展示した。

ウ 多久聖廟展示館の維持管理

多久聖廟に隣接する聖廟展示館の維持管理を業務として、防犯、警備、防火
対策や周辺の清掃及び通路の整備等を行った。

エ 多久百景写真コンテストの開催

多久市の四季・伝統文化・歴史を紹介するために多久百景写真コンテスト
を開催し、受賞作品を多久聖廟展示館に展示することで、多久市の魅力を来
館者へ紹介した。

(ア) 応募実績：316点の応募（応募者95名）

(3) 東原庠舎の研修目的での利用に対する貸与事業

当事業は、社会教育施設・宿泊研修施設としての東原庠舎の維持管理及び施設を活用した文化の伝承・発展に寄与する事業を行うことにより、学芸文化等の研鑽振興を図った。

ア 貸与実績：利用件数 309 件 利用人員延べ 4,193 名（宿泊 910 名・日帰り 3,283 名）

4 図書製作販売事業

平成 29 年度は NHK の「あさたび」という番組にて、多久市の特集が生まれ、論語カルタを行う子供の様子が放送されてことにより、放送された九州各県より多くの注文を受けた。

特に平成 25 年度より導入した Amazon の通信販売は効果を上げ、119 個の注文があり、平成 28 年度の 62 個の約 2 倍の注文を受ける販売ツールとして成長した。

また、ふるさと応援寄附金の特典品、多久市観光協会の通信販売サイトふるさと TAKU 配信による販売も去年同様に注文を受けている。

今後も多久市観光協会や一般社団法人たく 21 と連携を行い、孔子廟に関する書籍や論語カルタ等を製作、販売することにより、多久聖廟、東原庠舎の歴史及び孔子の教えを広く一般に周知する。

(1) 販売場所：東原庠舎、多久市物産館朋来庵、通信販売サイトふるさと TAKU

配信、多久市まちづくり交流センターあいぱれっと、通信販売サイト Amazon.com

(2) 出版物概要：百人一首式論語カルタ（絵入・文字）、論語いろはカルタ

論語日めくりこよみ、論語解説書、日本・中国・朝鮮の孔子廟、多久の詩情

(3) 販売実績：1,799,799 円

5 新年のつどい開催事業

平成 29 年度は、多久市まちづくり交流センターあいぱれっとにて多久市商工会及び JA さが並びに多久市観光協会の共催で開催した。

当日は、多久市民の有志が一堂に会し、新年の抱負を語り、お互いの親睦を

図った。

- (1) 対象：一般市民、市内、市外の企業等
- (2) 募集方法：チラシ、市報、新聞、ホームページ等を活用して周知。
- (3) 開催期日：1月4日（木）
- (4) 開催場所：多久市まちづくり交流センターあいばれっと
- (5) 参加者：156名

6 各種教室・講座開催事業

次の各種教室、講座を開催し、住民の教養の向上と健康の増進、相互の親睦を図った。

(1) 市民大学運営事業

目的：様々な講座を開催し、多久市の生涯学習の発展に寄与することを目的としている。

ア 内容：多久の歴史と文化を学ぶ講座(鶴山塾)等18講座

イ 開催場所：東原庁舎や中央公民館など多久市内の施設

ウ 開催期間：6月～翌年3月

エ 参加人数：延べ1,437名

- (2) ヨーガ教室：毎月第2・3・4木曜日及び土曜日、東原庁舎にて開催、参加者延べ373名

- (3) 絵手紙似顔絵教室：毎月第2土曜、東原庁舎にて開催、参加者延べ60名

- (4) 太極拳教室：毎週金曜日、東原庁舎にて開催、参加者延べ260名

7 法人運営・管理事業

(1) 理事会開催状況

平成29年5月9日

報告事項

理事長及び常務理事の職務執行状況について

決議事項

第1号議案 平成28年度公益財団法人孔子の里事業報告の承認について

第2号議案 平成28年度公益財団法人孔子の里決算報告の承認について

第3号議案 平成29年度公益財団法人孔子の里定時評議員会の招集について

平成29年6月15日

決議事項

第4号議案 理事長(代表理事)の選定について

第5号議案 常務理事(業務執行理事)の選定について

平成30年3月8日

報告事項

理事長及び常務理事の職務執行状況について

決議事項

第6号議案 平成29年度公益財団法人孔子の里収支補正予算(第1号)について

第7号議案 公益財団法人孔子の里事務局職員給与等規程の改正について

第8号議案 平成30年度公益財団法人孔子の里事業計画について

第9号議案 平成30年度公益財団法人孔子の里収支予算について

(2) 評議員会開催状況

平成29年5月25日

報告事項

平成28年度公益財団法人孔子の里事業報告について

決議事項

第1号議案 平成28年度公益財団法人孔子の里決算報告の承認について

第2号議案 理事の任期満了に伴う選任について

第3号議案 監事の任期満了に伴う選任について

(3) 評議員選定委員会開催状況

平成29年5月10日

決議事項

第1号議案 評議員の任期満了に伴う選任について

(4) 広報誌鶴山書院報発行

公益財団法人孔子の里の事業及び多久の歴史について紹介し、賛助会員等へ配布を行った。

第1号 平成29年4月1日発行

第2号 平成29年10月1日発行